



Department of Environmental and Preventive Medicine  
Graduate School of Medical Science  
Kanazawa University

*Yuri Hibino*

Kakuma-machi, Kanazawa-shi 920-1192, Japan  
PHONE:076-234-4665, FAX:076-264-6435

「渡航治療に関する不妊当事者の意識調査」ご協力をお願い

近年、卵子提供・代理出産をめぐり、不妊の方が国内のみならず、海外渡航をとまなう不妊治療について情報収集したり、現に海外渡航により不妊治療を受けるケースなども報告されています。日本ではこれまで、生殖技術の利用については法規制がされてきませんでした。このような流れも 1 つの要因となり、生殖技術の適用の範囲について、法規制を求める動きが出てきております。

適用の範囲をどこまで許すのかという問題については、社会全体で議論する必要がありますが、その中でも生殖技術を利用する当事者である不妊当事者の置かれている状況や、生殖技術についての意見は、法規制の方向性を考える上で極めて重要な要素です。

そのため、内閣府最先端・次世代研究開発支援プログラム助成研究として、不妊治療中の方を対象に、現にどのような治療を受けられており、第三者が関わる生殖技術の適用についてどのようなお考えをお持ちなのかを教えてくださいアンケートを、このたび実施させていただくことにいたしました。

つきましてはご多忙のところ恐れ入りますが、配布致しましたアンケートにご回答いただけますよう、お願い申し上げます。

ご回答をお願いしたい方：当施設で不妊治療を受けておられる方。この調査票は一定期間の間に受診された患者様を対象に無作為に行われるものです。

回答の扱い：無記名調査で自由記述についても受診施設および個人が特定できない形式に修正します。統計的に処理され、原票は他に閲覧されることはありません

広く日本の不妊当事者の意識を把握し、今後の日本における生殖技術の適用の方向性を考えるにあたって、さまざまな立場・考えの不妊当事者の方にご回答いただくことが必要です。

調査の趣旨、重要性をご理解の上、是非ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学角間南地区 自然科学3号館5F(3A517)  
日比野由利 TEL:076-234-4665・264-6435 E-mail:hibino@staff.kanazawa-u.ac.jp

2011年11月吉日

研究協力者：白井千晶（日本学術振興会特別研究員）・今井竜也（金沢大学）・島菌洋介（金沢大学）